

うめきた公園についてインタビュー

うめきた公園開園前の令和6年8月29日(木)、アメリカのランドスケープ事務所GGNと協働し、ランドスケープデザインを担当された株式会社日建設計の小松良明氏に、うめきた公園における設計の考え方についてのインタビューを行いました。

◆敷地境界について

「境界を超えたデザイン」が1つのテーマで、公園・道路・民地等の敷地境界を感じないように一体的に設計しています。

◆大屋根イベントスペースについて

大屋根も水盤もオーバルの形状になっています。2つのオーバルの形が呼応するように並んで配置されているのがデザイン上のこだわりになっています。

大屋根の下のアラワは石張り舗装になっています。わずかなむくりをつけていますが、目地切しの舗装で、石屋さんがかうく施工してくれました。日本の技術の精巧さがあらわれています。

◆水盤について

公園のコンセプトは「大阪本来の豊かに潤った大地」です。元々ここは、淀川の湿地帯だったということで、水に対してかなりこだわりを持っており、北公園は湧や池を計画し、南公園は水盤を計画しています。そういったところを歴史から今の現代的な表現に昇華してデザインしています。

水盤は、芝生表面から約5cmの段差をつけて、水盤のオーバル形状を美しく見せるというこだわりを持ってデザインしています。風が吹いていない時は、ピタッと水面が止まってきれいなアークができるように1cmの段差をつくるなど、ミリ単位でのディテールにこだわりを持って設計しています。

オーバーフローは2箇所あり、片方は貯水タンクに戻り、もう片方は本当のオーバーフローで敷地外に排水しています。機械室は建物の間に設置しており、ポンプやろ過器など様々な機械が配置されています。ろ過された水は、水盤に戻り、水盤下のポンプピットの水の中ポンプでぐるぐる循環する仕組みになっています。水盤には常に水が溜まるようになっています。

◆芝生広場について

芝生広場と水盤やシートベンチのあるエリアを含めて、ちょうど甲子園球場のグラウンドぐらいの広さとなっております。大屋根イベントスペースと合わせて1万人規模のイベントに対応できるようになっています。

シートベンチは、地形に馴染んだ形状にしたことが特徴になっています。芝生の表面が少しだけ角度をつけていますが、芝生表面が少しでも見えるようにして、裾に包まれて感じて線路率が上がる工夫をしています。

芝生広場はティント芝を使用し、冬場にオーバーシートをするという計画になっています。グラスミックスなどの耐圧基盤材導入により耐久性の高い芝生が育つ設計していますが、芝生育成のための対策を立てることも想定されています。なお、北公園の地上部分だけはノシバにしています。



▲インタビュー後の集合写真



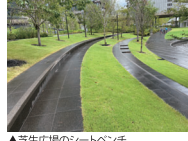
▲大屋根イベントスペース「ロートハースクエアうめきた」



▲水盤



▲水盤と芝生の段差



▲芝生広場のシートベンチ

一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部 皆さまへ、自然豊かと一歩を歩きた

正会員 (50音順) 23社	連絡先電話番号	賛助会員 (50音順) 2社	連絡先電話番号
関 荒 木 造 園 設 計 (072)761-8874	関 地 球 号 (06)6945-7566	関 佐 藤 渡 辺 近 畿 支 店 (06)6356-3388	
関 荒 谷 建 設 コ ン サ ル タ ン ト (082)292-5481	関 社 本 智 子 環 境 デ ザ イ ン 研 究 所 (079)772-0216	太 岡 エ コ プ ロ ク ス 関 (06)6466-6751	
関 エ ス ・ イ ー ・ エ ン 環 境 計 画 室 (06)6373-4117	関 中 根 庭 園 研 究 所 (075)465-2373	日 本 興 業 関 西 支 店 (06)7173-2790	
関 オ オ バ 大 阪 支 店 (06)6228-1354	関 ニ ュ ー ジ ェ ッ ク (06)6374-4032	久 保 田 セ メ ン ト 工 業 関 (078)304-0800	
環 境 設 計 関 (06)6261-2144	復 建 調 査 設 計 関 (082)506-1853	グ ロー ベ ン 関 西 営 業 所 (079)878-6070	
関 環 境 緑 地 設 計 研 究 所 (078)392-1701	ハ ー ヴ ィ ッ ク コ ン サ ル タ ン ト 関 大 阪 支 店 (06)4799-7311	関 ト ー シ ン コ ー ポ レ シ ョ ン (06)6479-1433	
キ タ イ 設 計 関 (0748)46-2336	関 ヘ ッ ツ ズ (06)6373-9369		
関 空 間 創 研 (075)823-6331	関 リ ア ラ イ ズ 造 園 設 計 事 務 所 (06)6941-1151		
関 現 代 ラ ン ド ス ケ ー プ (06)6203-1270	関 緑 景 (06)6763-7167		
関 公 園 マ ネ ジ メ ン ト 研 究 所 (06)6947-6522			
サ ン コ ー コ ン サ ル タ ン ト 関 (06)6121-5013	花 豊 造 園 関 (075)341-2246		
関 ス ペ ー ス ビ ジ ョ ン 研 究 所 (06)6942-6569	関 S D A T (06)6605-1166		
関 総 合 計 画 機 構 (06)6942-1877			
関 地 域 計 画 建 築 研 究 所 大 阪 事 務 所 (06)6205-3600			

協力会社 (27社)

公園施設 (50音順) 12社	連絡先電話番号	舗装資材 (50音順) 4社	連絡先電話番号
関 ア ボ ッ ク 社 (06)6942-8466		関 佐 藤 渡 辺 近 畿 支 店 (06)6356-3388	
上 屋 敷 工 業 関 (0776)56-2310		太 岡 エ コ プ ロ ク ス 関 (06)6466-6751	
関 コ ト ブ キ 関 西 支 店 (06)4801-8265		日 本 興 業 関 西 支 店 (06)7173-2790	
関 ザ イ エ ン ス 大 阪 営 業 所 (072)439-4413		久 保 田 セ メ ン ト 工 業 関 (078)304-0800	
関 サ イ ト (092)925-9858		グ ロー ベ ン 関 西 営 業 所 (079)878-6070	
関 サ カ エ 西 日 本 支 社 (06)6325-2288		関 ト ー シ ン コ ー ポ レ シ ョ ン (06)6479-1433	
タ カ オ 関 大 阪 営 業 所 (06)6397-5266			
関 タ ン デ ム (072)986-1880			
関 中 村 製 作 所 (06)6378-2290			
関 風 塾 セ コ ロ 関 西 営 業 所 (06)6838-3356			
関 ラ ス コ ジ ャ バ ン (0794)86-0081			
H.O.C (エッチ・オー・シー) 関 (06)6395-2247			
管理施設 (50音順) 3社		石材 (50音順) 1社	
朝 日 ス テ ー ル 工 業 関 (06)6244-1910		中 村 石 材 工 業 関 (06)6571-1206	
帝 金 関 (06)6252-3691			
関 サ ン ボ ー ル (082)244-4655			
水景施設 (50音順) 3社		施工 (50音順) 1社	
関 ア ク ア プ ラ ン (06)6969-5831		関 橋 祥 建 設 (0794)89-8288	
関 ウ オ ン (072)870-4764			
日 之 出 水 道 機 関 (06)6446-2687			
事務局		印刷 (50音順) 1社	
T 530-0014 大阪府北区豊野町4-11-106 関 エ ス ・ イ ー ・ エ ン 環 境 計 画 室 内 TEL: (06)6373-4117 FAX: (06)6373-4617		関 ダ イ ビ ス (06)6312-6451	

事務局	編集人	印刷
T 530-0014 大阪府北区豊野町4-11-106 関 エ ス ・ イ ー ・ エ ン 環 境 計 画 室 内 TEL: (06)6373-4117 FAX: (06)6373-4617	関西支部広報委員 委員長：花田 隆久 副委員長：増田 得典 編集委員：多田 祥子 友園 俊也 中野 隆	関ダイビス
二松社登人 ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部 関西支部長 西辻 俊明	写真提供：©Akira Ito, Afoto	
一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部	http://www.cla-kansai.jp	

ランドスケープ コンサル

Landscape
Kansai

特集:

変わりつつある公園のかたち

Vol.6

NO.
130
2024.11
秋号

発行:ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

写真提供: ©Akira Ito, Afoto

http://www.cla-kansai.jp

特集: 変わりつつある公園のかたち vol.6

～事例: うめきた公園 (大阪市)～

うめきた公園の概要

■事業の目的

本公園整備により大規模災害時の避難者の安全確保、帰宅困難者の一時退避スペース等の防災機能の強化を図ることを目的とし、周辺市街地の整備改善と一体的に事業を実施します。

■計画地

大阪市北区大深町地内

■公園名称

うめきた公園

■面積

約4.5ヘクタール
(北街区:2.0ヘクタール、南街区:2.5ヘクタール)

■整備

整備主体:大阪市・独立行政法人都市再生機構(以下「公共」)
整備手法:防災公園街区整備事業(一部、土地区画整理事業)
公共によるベースグレードの公園整備に加え、事業者JNのデザイン提案等によるまち全体の魅力を高めるアップグレードを実施後、大阪市に移管予定。

■設計

デザインリード:GGN、デザイナー:日建設計

基本設計:株式会社日建設計・株式会社三豊地所設計

実施設計:株式会社日建設計

■施工

大林組・竹中工務店・竹中土木建設工事共同企業体



うめきた公園の経緯

平成27(2015)年3月:うめきた2期区域まちづくりの方針策定

平成30(2018)年7月:うめきた2期民間開発事業者決定

令和2(2020)年12月:民間開発工事着手

令和4(2022)年5月:公園工事本格着手

令和5(2023)年3月:うめきた(大阪)地下駅開業

令和6(2024)年9月:一部先行まちびらき(民間宅地の一部・本公園の一部等)

～以降、段階的なまちびらき～

令和7(2025)年3月:グランドグリーンドア開業

令和9(2027)年春頃:本公園全体開業

令和9(2027)年度:全体まちびらき



▲全体計画平面図(提供:グランドグリーンドア開発事業者)

うめきた公園の特徴

- ・「未来へのひらめきと原動力となる「みどり」をコンセプトに、民間宅地を含めた敷地全体を一つの「みどり」の大地として捉え、一体的な設計としています。
- ・南公園は都市的な空間、北公園は緑が多く自然豊かな空間とし、それぞれに水景や桜を配置することで、象徴的な風景を創出し、自然を楽しめる名所を作ります。
- ・最大高さ約3メートルのランドフォーム(盛り土)を南北をまたいでうねるように配置し、奥行きや立体感のある多様な空間・景観を創出することで、さまざまな活動・体験を生み出します。

防災(レジリエンス強化)に関する取組み

- ・本公園は、「広域避難場所」の機能を有する都市公園として、大規模災害時に一時避難者の受け入れが可能な有効避難スペースを約3.4ha確保した都市公園として整備します。
- ・一時避難者の滞留スペースとして活用できる平坦な広場を確保し、動線計画においても多数の一時避難者や緊急車両の円滑な進入を考慮した入口・幅員設定を行っています。
- ・非常用照明、防災スピーカー、非常用便所(災害用マンホールトイレ)、備蓄倉庫などの防災施設を配置します。

出典参照: <https://www.ur-net.go.jp/produce/case/umekita/2nd/project2/approach.html>
https://www.ur-net.go.jp/west/press/hndcds0000093x5-att/20220516_umekita_2nd.pdf
UR都市機構「うめきた2期地区」